



収穫の終わった畑と土。収穫が終わり一休みしているかのように静かですが、実は土の中ではいろいろなことが起きています

# 知りたい好奇心

こうきしん

よなかふしぎわ  
世の中には不思議で分かりづら  
いことがたくさんあります。自然、  
かがくれましぐわせんせいと  
科学、歴史など、詳しい先生に解  
きあかしてもらいましょう。

## 収穫が終わった畑の下 ひそかに進む土づくり

木枯らしが吹いて落ち葉が舞う季節になりました。収穫が終わった畑もにぎやかな時期を過ぎて、これから一休みしようとしているかのようです。しかし、この季節も、土の中では、いろいろなことが起きています。畑には落ち葉や小枝、枯れた草やその根などがたく

さん残っています。これらが土の中にすんでいる昆

虫や微生物の働きによつ

て少しずつ分解されてゆ

のです。分解されたものは、

最後は肥料分になってゆ

きますが、実は全部分解さ

れてしまうのではなく、微

生物によっても分解され

にくい有機物が残ります。自

然の力の面白さはこれか

はたけした  
らです。

### 山で落ち葉を調達

この残った有機物は互いに結び付いて、「腐植」と呼ばれる複雑な構造をした物質を作ります。土の中には粘土の小さな粒も含まれています。この粘土の粒と腐植が一緒になること

で、ゆつくりと時間をかけ

て、ふわふわの土のもので

ある「団粒」が作られて

ゆくのです。落ち葉や枯れ

た草など、残り物のように

思われるものが、実は土作

りには大事なものになって

いるのです。

「よい作物を作るにはま

ず土づくり」と言われるよ

うに、たくさん作物を得る

ためには土の様子を知っ

ておくことはとても大事な

ことです。そのため畑の土

については、これまでに多

ような土を作るには、畑の中に落ち葉や木くずを加えるのが良いということも、古くから知られてきたことでした。それは、昔の農家の人々が、腐植の大切さを、経験として知っていたからです。そこで、昔の人たちは、今の季節になると山から落ち葉をかき集め、畑に入れていました。農家にとって、山は燃料になる薪を確保する場所だけではなく、畑作りに欠かせない落ち葉を調達する、とても大切な場所だったので。

### 化学肥料で便利に

ところが今は、山から落ち葉を畑に入れる農家はほんのわずかになりました。化学肥料がたくさん出回り、それを使えばわざわざ山に出掛けなくても、作物がたくさん収穫できるようになったからです。山と里

の農家との関係は弱くなり

ましたが、私たちの暮ら

しが自然の巧みな働きによ

って助けられているという

ことは、忘れてはありま

せんね。

(山梨大学院医学工学

総合研究部国際流域環境研

究センターⅡ生命環境学部

環境科学科兼任Ⅱ教授 風

間ふたば)